

# 青少年委員だより

## 一人ひとりの可能性を尊重した未来づくり 第168号



5月定例会研修 区災害対策本部にて

このたび、文化共育部長を拝命いたしました河嶋とも子と申します。

私はこれまで区民課にて、青少年委員の皆さまが地域の子どもたちのために情熱を持って活動される姿に触れ、その熱意と心尽くしの取り組みに深く感銘を受けてまいりました。また、青少年委員制度70周年記念の活動記録パネルに刻まれた歩みからは、その歴史の重みと地域を支え続けてこられた力強さを改めて感じております。

江戸川区では、子どもたちが安全で安心して成長できる環境の実現を目指し、地域の支え合いを基盤として、文化やスポーツの振興、異文化理解の促進など幅広い取り組みを進めております。青少年委員の皆さまが築かれた大切な基盤をさらに充実させ、連携を深めながら、一人ひとりの可能性を尊重した未来づくりに努めてまいります。

地域に根差した活動を通じて、子どもたちが笑顔で健やかに成長できる環境を、皆さまと共に築いてまいりますと存じます。今後とも、温かいご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、青少年委員会のさらなるご発展と、皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



地域の力で支える子どもたち  
文化共育部長 河嶋 とも子

### 子どもの文化体験研究グループ



令和7年11月16日（日）、鹿骨地域の「鹿本地区」にて小学生を対象とした「しかもたんけん隊」を開催いたします。

現在、鹿本地区委員会の委員長をはじめ、地区委員の皆さまにご協力いただきながら、一緒に「たんけん隊」の企画準備を進めています。これまでに、地元の方々からお話を伺い、実際に現地を見て回りながら、数多くの伝統、文化、産業に触れ、貴重な体験をさせていただきました。



9月には鹿本地区の小学校へ募集のお手紙を配布する予定です。

当日は、地域の方々の交流を通し、子どもたちが「受け継がれてきた地域の伝統」に直接触れ、自分たちが育つ地域への理解と愛着を深める機会となることを願っております。

文責  
鹿骨地区部会  
大和田 静枝

### 「しかもたんけん隊」開催のお知らせ 子どもの文化体験研究グループ

### 追悼 米川和則 会長



令和7年5月17日、私ども江戸川区青少年委員会の米川和則会長が逝去いたしましたことを、謹んでお知らせ申し上げます。

米川会長は、人とのふれあいを何よりも大切にされ、「あいさつは心の扉を開く」を信条として、地域の皆様と笑顔あふれる交流を重ねながら、11年にわたり青少年の健全育成に尽力されました。

米川会長のこれまでの功績と情熱に、心より敬意と感謝の意を表するとともに、深い哀悼の意を捧げます。

なお、今後の委員会運営につきましては、米川会長の遺志を受け継ぎ、木下副会長が会長代行としてその任にあたることとなりましたことを、併せてご報告申し上げます。

今後とも、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報部長 三木 佳代

### あしがき

今号の「青少年委員だより」は、今期の広報部長が2年目に入り、多くの内容が盛り込まれています。青少年委員会独自の活動や各地区の地域行事などを紹介してまいります。これからも、より良い紙面づくりに努めてまいります。

5月17日に青少年委員会会長の米川和則さんが永眠されました。心より御冥福をお祈り申し上げます。

広報部一同

### 江戸川区青少年委員 ホームページ



こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。

江戸川区青少年委員

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会  
編集 広報部  
連絡 江戸川区文化共育部  
健全育成課 育成活動支援係  
03(5662)0357

### 第32回小学校卒業記念ナイトウォーク



令和7年3月29日(土)の夜から翌30日(日)の朝まで、小松川平井地区委員会主催で第32回小学校卒業記念ナイトウォークが開催されました。当日は小雨が降り、肌寒い天候にもかかわらず、卒業生148名、保護者や先生方226名が参加しました。

昨年11月に実行委員会を立ち上げ、当日は実行委員や地域の協力者、他地区のスポーツ推進委員や青少年委員など184名の支援のもと、大きな事故もなく無事に開催できました。夜10時に小松川小学校を出発する際には区長や小学校の校長先生、保護者など多くの方が見送りに駆けつけました。千鳥ヶ淵と木場公園で休憩を挟みながら真夜中の都心を27km歩き、朝6時過ぎには全員が大きな達成感を胸にゴールしました。

は、新しい中学校生活への自信につながることでしよう。

文責 小松川地区部会  
大石 賢一

### 第45回下小岩縁日まつり



令和7年4月29日の祝日に、南小岩六丁目児童遊園で「第45回下小岩縁日まつり」が開催されました。祭りは「みんなで作ろう・ふれあいのまち下小岩」をテーマに、ステージ発表や模擬店、ゲームコーナーなどが設けられ、地域の交流を深める場となりました。青少年委員は手作り工作コーナーを担当し、「パタパタ工作」を実施しました。未就学児から小学生まで延べ89人が参加し、ハサミやホチキスを使いながら工作を楽しみ、完成した作品を嬉しそうに持ち帰っていました。

文責 小岩地区部会  
津金 悟

### 第24回スーパードッジボール大会



令和7年6月8日(日)、江戸川区スポーツセンターにて開催された「第24回スーパードッジボール大会」に行事しました。青少年育成葛西第一地区委員会主催のこの大会では、来賓受付や会場内の誘導を担当し、試合開始後は時計係・記録係・連絡係など、状況に応じて柔軟に役割を分担し、円滑な運営に努めました。子どもたちが真剣な眼差しで競技に臨む姿や、保護者の温かい声援が印象的で、地域と青少年のつながりの重要性を再認識しました。

今後も青少年の健全育成を目的に地域事業に積極的に参加し、地域社会への貢献を継続してまいります。

文責 葛西北地区部会  
岡田 はるな

### 第46回中央地域まつり



令和7年5月25日(日)、グリーンパレス会場など小松川境川親水公園沿線一帯で「第46回中央地域まつり」が開催されました。前日からの降雨予想でパレードなど一部の行事が中止となりましたが、朝には雨も止み、概ね予定のプログラムが実施となりました。青少年委員会中央地区部会は、「waku dok iプレイパーク」と名付け、松江第二中学校のボランティアと共にパルーンアート、ポッチャ、豆運びの催しを行いました。たくさんの人々に来場いただき、中学生ボランティアの活躍もあり、どのコーナーもはじける笑顔であふれていました。

文責 中央地区部会  
三浦 圭司

### 第48回鹿骨区民館まつり



令和7年5月18日(日)、「第48回鹿骨区民館まつり」が開催され、鹿骨区民館別棟の2階フラスホールにて、PTA、江戸川区子ども会連合会(区子連)、青少年委員が中心となって「手づくり広場コーナー」を実施しました。今年度は、各コーナーとの連携を深め、子どもたちが全ての催し物を回りやすくするためにスタンプリールを導入し、ゴールでは、参加賞を配りました。その結果、300名以上の子どもたちが6つのコーナーを楽しみながら回り、大盛況を収めました。青少年委員の催し物では、中学生ボランティアとPTAの協力で父の日カードとパクパクカードを作成しました。来年もより盛況な企画を検討したいと思います。

文責 鹿骨地区部会  
笠井 雅世

### 第2回ミンナDEみなしのまつり



令和7年6月22日(日)、梅雨を忘れるほどの晴天の中、「第2回ミンナDEみなしのまつり」が共育プラザ南篠崎で開催されました。このイベントは、共育プラザでの活動を地域に知ってもらうことを目的としています。前回の準備不足を改善し、青少年委員会東部地区部会が企画段階から加わり、中高生の実行委員と一緒に「共に育てた」イベントとなりました。

当日は、工作コーナーやパルーンアートなどを企画し、訪れた子どもたちの笑顔を引き出しました。青少年育成瑞江地区委員会や区子連瑞江支部などの協力も得て、盛大なおまつりとなりました。

文責 東部地区部会  
大橋 一成

## 5月定例会



文責  
鹿骨地区部会  
大和田 静枝

令和7年5月16日（金）の定例会研修では、区役所庁舎内にある「区災害対策本部」を見学した後、江戸川区危機管理部より、区の防災対策についてご講演をいただきました。

災害対策本部には、大画面のモニターが設置されており、河川の情報などがリアルタイムで映し出されています。災害時には、この場所が情報の収集・発信の拠点となります。

講演では、地震や水害など災害の種類によって避難行動が異なることや、「自助・共助・公助」の重要性についてお話しいただきました。公助が行われるまでには時間がかかることもあるため、「常備薬」や「食料・水」の備えが大切であることはよく知られていますが、今回の研修では「簡易トイレ」の備えが非常に重要であることも学びました。

まずは自分自身を守ることを、そしてお互い様の気持ちを忘れずに、地域の方々へこの学びを伝えていこうと思える研修でした。

## 6月定例会



文責  
葛西北地区部会  
森 卓也

令和7年6月20日（金）、特定非営利活動法人「起点」理事長の中條邦子様にご講演いただき、地域の福祉に携わられた後、既存の支援の枠からこぼれ落ちてしまいがちな高校生たちに対し、進路の選択肢や安心して過ごせる居場所を提供したいという思いから、自立援助ホーム「L'esprit（レスポール）」を設立されました。現在は6名の若者たちに対し、生活面・学習面の両面から支援を行っております。

講演を通じて、「ありのままの自己を承認されること」が何よりも大切であり、それが自立を促すことにつながるということを学びました。

## 集中3分間スピーチ

令和7年4月18日（金）の定例会研修において、「集中3分間スピーチ」を実施しました。

私たち青少年委員は、研修の1環として定例会研修の最後に3分間スピーチを行っています。

青少年委員は地区委員会の行事や学校などでスピーチや挨拶を求められる機会もあり、時には突然指名されることもあります。「3分間スピーチ」はそのような場面でも慌てず緊張せず、短時間で要点をまとめて話すスキルを身に付けることを目的として、20年以上にわたり続けています。

任期中に全員が一度、委員の前で3分間話す機会を持ちます。テーマは趣味や仕事、生活や青少年委員活動など何でも自由です。3分間で聴衆にメッセージが効果的に伝わるように話すことは至難の業です。特に初めて体験する委員は、話がまとまらなかつたり、3分間をオーバーしたり、逆に短



### 今期のスピーチ内容

- ・新島への思い
- ・時間の使い方
- ・アメリカの物価高
- ・盲亀浮木のたとえ
- ・ヨットの魅力
- ・小P連での活動
- ・詐欺に注意

すぎたりと苦勞することが多いです。

今後も3分間スピーチ研修を継続し、委員一人ひとりのスピーチスキル向上に努めてまいります。

文責  
小松川地区部会  
村上 則俊



### おもしろ工作研究グループ

#### 手作りの楽しさと大切さを子どもたちに

子どもたちに「手作りの楽しさと大切さ」を知ってもらうことを目的として、リーダーの岩楯委員を中心に13名で活動しています。今期研究した作品を紹介します。



はらぺこあおむし



マグネット



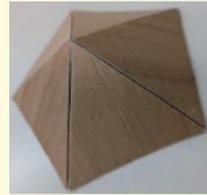
サンタが飛び出すクリスマスカード



クリスマスカード



折り紙の傘



多面体工作



はなび



水引のストラップ

### わくわくレクリエーション研究グループ

わくわくレクリエーション研究グループは、「いつでも、どこでも、わくレク」をモットーに、研究活動を行っています。対象は主に小学生ですが、中高生や大人でも楽しめるようにアレンジを行います。年齢や参加人数、時間制限、会場の広さなど、さまざまな場面に合わせた楽しめるゲームの進行を考えています。現在、防災やスポーツ、漢字などの新しいゲームの完成を目指し、研究を進めています。



### 中学生の地域参加研究グループ

私たちは、中学生の地域参加をテーマに活動する研究グループです。青少年委員と中学生実行委員が協力し、イベント「学びのかるがもひろば」を企画しています。この活動の目標は、「地域参加意識の育成」「責任感、協調性、主体性の向上」「異世代交流による視野拡大」です。

5月18日に第1回実行委員会を開催し、立候補した議長を中心に、丁寧に議論を進めました。テーマは「健康」で、スローガンは「交流して、笑顔をつくり、健康になれ」です。9月28日の開催に向けて、中学生の主体的な活躍にご期待ください。



### 未来を担う人づくり研究グループ

今後の活動として、「マンカラ大会」の開催を想定し、子ども会との連携をどのように構築していくかを考えていきます。マンカラの特徴としては、異年齢交流ができること、ルールが簡単であること、頭脳を使いながら短時間で遊べることなどの利点があります。ただし、大会へ向けての課題として告知方法、ルールの整備、募集の仕方、対象者の設定などが挙げられます。そのため、まずは区子連支部と連携し、子ども会の運営に関する悩み事の聞き取りから始めていきます。



### 平和とSDGsを共に考える研究グループ

#### SDGs 日めくりカレンダー 第2弾ができました

私たちの研究グループは、SDGsを中高生が自分たちの将来にかかわる「自分事」として捉えてもらいたいと考え、SDGs日めくりカレンダーの作成を企画しました。

今回は、共育プラザ中央の中高生とともに、SDGs日めくりカレンダーを作成しました。SDGsの17ゴールそれぞれに対して、中高生ができることや思うことを31日分の標語にし、その標語に合う絵や画像を中高生がタブレットで作成しました。



### 地域交流研究グループ

地域交流研究グループは、他地域の青少年委員会との交流を積極的に広げ、各地域特有の活動を発見し、どのように私たちの活動に反映できるかを研究することを目的としています。『ASObo』をテーマに、「手づくり工作」や「レクリエーション」など、遊びながらさまざまな経験を通じて楽しみながら育成につながる活動を行っています。

現在、新島交流をはじめ、荒川区へは「川の手荒川まつり」の視察、目黒区からは「卒業記念ナイトウォーク(小松川)」の視察を通じて交流を深めています。

